

一般質問から

平成19年第2回定例会の一

般質問は、6月15日、18日、19日の3日間にわたり、20人の議員が55項目の質問事項について、市の見解を求めました。ここでは、各議員の主な質問と、それに対する市の見解を紹介しします。
なお、詳しくは、8月下旬頃、更新予定のホームページをご覧ください。

用語 一般質問

一般質問とは、議員が市の仕事全般について、執行機関から現在の状況やこれからの考えを聞くことです。



八潮駅前交通広場整備

広沢 昇

八潮北口駅前広場での通勤・通学者等の送迎用車両の安全な乗降場所の確保と看板等による場所の表示について。

今後、新設される南口駅前への一般車両・バス・タクシーの安全な乗降場所の確保と、タクシー車両の待機場所の設置について、特にタクシーの乗車場所2台分と降車場所1台分の確保について。

南口駅前の交通広場整備については、今年度中に実施設計の予定、北口交通広場の状況を踏まえ、関係機関との協議を行いながら交通安全に配慮した整備を進めてまいります。



北口駅前広場での送迎用車両の乗降場所は、フレスポ八潮の正面としておりますが、表示等については今後、警察と協議要望してまいります。

子育て支援における保育行政の充実について

池谷 和代

次世代育成支援行動計画に延長保育の実施を増設する計画があり、市民からも切実な声があがってきていますが、どのように検討されていますか。

延長保育については、可能な限り保護者の要望に応えるよう現在4施設で実施しています。今後、雇用形態の多様化等により延長保育を希望する方が増加することが考えられますので、職員の数や配置等の問題を踏まえて検討していく必要があると考えています。

延長保育を実施した場合に、今後、駅前より送迎保育が可能となりますので、待機児童の解消にもつながるものと考えています。



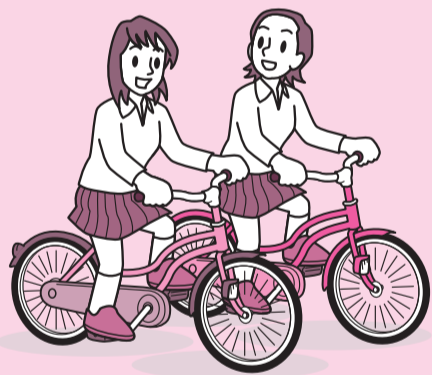
また、例えば、現在入所枠が比較的余裕のある古新田保育所

自転車走行帯の推進について

小倉 順子

自転車事故を防ぐ為にも市内の歩道整備に力を入れて頂き、計画的な自転車走行帯の推進について伺います。

八潮駅周辺が商業地域であることから、人だまりのゆたかりとした空間、歩道幅員も必要と考えられます。今後、多くの市民の皆様の声によく耳を傾け、自転車走行帯を望む声が多くなれば、関係機関とも相談させて頂き、十分、検討を進めてまいりたいと考えております。



学校教育について

渋谷 敏男

学校への不審者の侵入により、児童生徒が殺傷され命が失われる事件が過去に発生しております。

そこで、子ども自らが危険を認識し、判断し、行動できることもきわめて大切と考えます。学校では、このような力をどのように育てているかお聞きします。

県が実施した「子どもあんしん登下校推進事業」の一貫として、昨年度、全小学校において「地域安全マップ」を作成したほか、それらに関連した研修「防犯教室講習会」を紹介

して、各学校における児童生徒の危険察知及び危険回避能力を育てる防犯教育を推進しております。
また、平成17年度より「子ども防犯委員会」を立ち上げ、小・中・高校の連携により、子ども達、自分達の力で安全を守ろうとする取り組みを進めております。具体的には、「子ども防犯5カ条」を作成し、時期に応じ、市の防災無線により放送を行うとともに、市内の学校や公共施設等にポスターを掲示し、啓発を行っております。

公共施設の有効活用について

朝田 和宏

入居率の低い小作田教職員住宅について、今後の方角性を全庁的に議論する必要があると考えます。市としての考えは。

小作田教職員住宅は6月1日現在、全46戸のうち入居が11戸で、入居率は24%程度となっております。小作田教職員住宅は、市のほぼ中央に位置し、周辺環境や交通の便もよく、市の貴重な財産と考えています。教育委員会では、今後、教職員住宅として需要が見込めない場合につきましては、市の財政状況や、市民の要望を十分に考慮

に入れ、用途の変更や所管替え等により有効活用出来るよう関係各課と調整を図って参りたいと考えています。

